

# 質疑・答弁

## 決算特別委員会での主な

第3回定例会初日の9月4日、町長から提案された平成23年度城里町決算（7会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



委員会の審議状況

### 総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月5日に委員会を開催し、平成23年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

#### （一般会計所管分）

#### 歳入

**問** 徴収率アップのための対策について。

**答** 督促状・催告書を送付後、滞納者から連絡がない場合は、預金・生命保険・固定資産等の財産を調査し、支払える資力のある場合は、財産の差押えを重点的にやっていきたい。

**問** 保育料未納に対しての内訳と対策について。

**答** 未納は15件です。本年度より全額を納めないと保育所には入れないという姿勢は示しています。こまめに徴収している状況です。

#### 歳出

**問** 防災備蓄倉庫の内容は何か。給水タンクを備蓄していくのか。

**答** 現在、コミセン西側に建設中で非常用食糧品の備蓄を考えている。給水タンクはそこの中に納めるわけにはいかない。考えていきたい。

**問** 男女共同参画プラン策定事業の推移について。

**答** 男女共同参画プラン策定事業については、各種団体と調整中であり、組織を立上げ講演会を開催する計画になっています。

**問** 防火貯水槽と消火栓の単価について。

**答** 防火貯水槽は概ね400～500万円位で、消火栓は75ミリ以上で概ね50万円位です。

**問** 公用バスの運行については、他市町村では宿泊も利用できるがやってみ

てはどうか。

また、利用はどうなっているか。

**答** 城里町公用バス管理規程に基づいて運行している。規程では日帰りのみになっています。大型バス2台・中型バス1台で運行し、年間の利用が110回あります。

#### （国民健康保険特別会計）

**問** 診療所別の外来収入額について。

**答** 七会診療所医科が1億5百13万2千4百7円、齒科が3千百85万7千5百42円、沢山診療所齒科が3千4百27万4千67円です。

### 教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月6日の委員会を開催し、平成23年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事

業・水道事業会計の決算について審査しました。

(一般会計所管分)

歳入

問 町営住宅使用料の収入未済額について、今後はどのように対策を強化し、削減を目指していくのか。

答 連帯保証人に納付指導を強く働きかけるとともに、税務徴収員と連携し、徴収の強化を図っていく。

問 収入未済者や滞納者の傾向とそれに対する対策は。

答 継続的に長期にわたって滞納している場合が多い。対策としては、今年度から(財)県住宅管理センターに滞納整理業務を委託して、滞納額削減に取り組んでいる。

問 給食費についての滞納整理の方法は。

答 督促状の送付を行い、

歳出

問 プレミアム商品券についての内容と効果は。

答 プレミアム商品券のプレミア率は20%となっております。尚、効果につきましては、まねばなく効果があつたものと理解しています。

また職員が一軒一軒ある場合もあります。さらに学校とタイアップして行っている。

解しています。

問 放射能検査装置(測定器)の内容は。

答 測定しているのは、ヨウ素・セシウムとなっております。

問 住宅リフォーム補助の適用範囲について。

答 住宅の修繕や改築、増築等を町内業者の施行で行った場合、費用の一部を補助する制度である。

補助額は工事の金額が10万円以上のものの10%で、上限は10万円となっております。

問 ふれあいの船事業、今後の見直しについて。

答 昨年に關しましては、東日本大震災の關係で

保護者にアンケートを取った。参加したいとの意見が大多数なので、今後も続けていきたいと考えている。

(公共下水道事業特別会計)

問 加入率について。

答 那珂久慈流域が66・6%、特環地区では65・1%となっている。

(農業集落排水事業特別会計)

問 上古内地区の加入戸数は。

答 99戸です。

(水道事業会計)

問 決算書の普及率と有収率は、他の水道事業と比較してどうなのか。

答 茨城県内の平成22年度平均値ですが、普及率は、城里町98・8%に対し県平均は92・5%、有収率が、城里町78・9%に対し県平均は89・3%です。

問 有収率が低いのは、漏水が原因ではないのか。

答 水道管は地下に埋設されているため、漏水が無いと断言はできません。有収率の低下の要因は、配水流量計の老朽化、水道管の地下漏水などが推定されますので、老朽施設の更新、地下漏水の早期発見と修繕などにより、有収率の向上に努めてまいります。

問 七会地区の、水道施設の整備状況と、加入状況はどうなっているのか。

答 七会地区の水道整備ですが、平成18年度から平成21年度に、水道の未普及地域を解消し、平成23年度から平成25年度の予定で、水道の再編整備を進め、平成23年度には、小松浄水場系から塩子浄水場への送水が可能になりました。

また、水道の加入状況は、普及率が、城里町全域で98・8%に向上しました。



委員会の審議状況